



火災や救急の時、いち早く駆け付け、市民の命を守る消防士。そんな彼らが普段どのような仕事をしているか知っていますか。  
今回は新庁舎(中郷町)に移転して10周年を迎える薩摩川内市消防局消防本部と中央消防署に潜入し、消防士たちの仕事に迫ります。  
※消防士には救急隊員も含まれています。



キジカケル!!



### 消防本部とは?

薩摩川内市消防局の庁舎3階には、消防本部があります。消防本部には、消防総務課、警防課、予防課、通信指令課があり、主に本市の消防局全体の企画および総合調整や、火災予防に関する企画、消防・救急部隊の運用計画、通信指令業務などの事務全般を行っています。

### 119番通報の要 通信指令室

火事や救急で出場要請をする時、皆さんが電話を掛ける119。薩摩川内市全ての119番通報がここ消防本部の通信指令室に届きます。入電があると、まず火災か救急かを聞き、GPSで大まかな発信地を特定。その後現場の状況を聞きながら瞬時に情報を整理して、各部隊に出場指令を出します。

出場要請から3分以内に出場できるよう日々準備しているんだって。



▲通信指令室の様子

### 中央消防署

庁舎2階には中央消防署があり、約55人の消防士が在籍しています。勤務は24時間交代で、当番の消防士は2階の事務室で出場に備えて待機しています。勤務中は、いつでも出場できるような体制を整えています。そのため署内には、食堂、調理場、トレーニング室、仮眠室、洗濯・乾燥室などの設備が充実しています。以前は、当番制で全員の食事を作っていましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、今は各自で準備しているそうです。



▲中央消防署事務室の様子



▲消防車両を点検する様子

## 消防士の制服と活動時の服装をご紹介します!

**制服**  
式典や礼式を伴うときや、通常点検を受けるとき、会議などで着用します。



青色の活動服は消防隊が着用します。

オレンジ色の救助服は救助隊が着用します。



普段の消防署内での服装です。訓練や事務をしながら出場指令に備えています。

国家資格を持つ救急救命士はグレーの救急服を着用しています。



**救急隊**  
救急車両で病気やケガをした人に適切な処置を行い、医療機関に搬送します。



**消防隊**  
火災現場での消火活動や救急隊の活動支援、自然災害などあらゆる災害に出場します。



**救助隊**  
火災や交通事故などの災害現場で、知識や専門技術・器材を駆使し、救助活動を行います。

### 災害が起きていない時の消防士のある一日を紹介!

8時30分 勤務交代(前日の勤務者から引き継ぎ)



10時 立入検査などの実施・報告書作成



12時 昼食 (各自で準備)

13時 火災・救急対応訓練



本番で緊張しないように、安全第一、しっかり手順を踏んで行うことを意識しています。

15時30分 出場後の報告書などの作成



17時 各自筋力トレーニングなど



18時30分 夕食 (署内にある調理場を使って簡単な料理を作ることもある)

21時 消防車両点検・事務処理



22時~5時 仮眠 (この時間に2時間交代で通信指令業務を行う)

5時~8時30分 起床・車両清掃・事務処理  
勤務交代(翌日の勤務者に引き継ぎ)